

しが国際協力親善大使レポート

おの さやか
小野 紗也佳さん

隊次：2016年度4次隊

職種：青少年活動

派遣国：ガーナ

自己紹介

大学在学中から海外ボランティアに関心があり、NGO 団体 NICE で東南アジア(インドネシア・タイ・ラオス)で主に子供たちと交流をするボランティア活動を行っていました。日本の文化紹介、衛生・環境教育を行ったり、インドネシアのスマランでは売春街に住む子供たちの心のケアとしてレクリエーションを行っていました。

大学卒業後はタイ・チェンマイの日本語学校で日本語教師を務め日本企業に関心のあるタイの学生をメインに日本語の指導をしてました。指導している学生は恵まれた環境の子供たちが多い一方で、街を歩けばミャンマーやラオスからの移住の子供たちが物売りをしている光景をよく見かけました。

もっと色々な環境下の人たちとかかわっていきたいという思いと、見たことのないアフリカの地を経験し世界をもっと知りたいという思いから青年海外協力隊に応募しました。

現在はアシャンティ州アダンシノース郡ドンポアセ市の教育局配属で職種は青少年活動です。ICT を通しての情操教育という要請で活動しております。

ガーナの紹介

ガーナは赤道に近く、年中夏の国です。4月から10月ごろまでは雨季、11月から3月までは乾季です。乾季の12月ごろからはハマターン（サハラ砂漠の砂が風に流されて町中を白っぽくさせます。日本の黄砂のような現象です。）があります。私の任地はガーナ南部に位置するアシャンティ州アダンシノース郡ドンポアセ市というところで、首都からはバスで約5時間ほどです。道路は JICA が援助した国道8号線(ケープコーストから州都のクマシまでの道)は整備されていますが、少し道を外れると凸凹道のオフロードで窓を開けておくと髪も鞆も砂まみれになります。

活動紹介

主に中学校での活動を行っております。配属先が管轄している中学校は全部で11サーキット(地区)で計75校あります。4ヶ月に3~4校を決めて週に1~3回その指定した学校を巡回しています。また空き時間にはバイクの運転練習がてらに少し離れた地域の学校に飛び入り授業をおこなっています。現在10校ほどしか回れていないのですが、学校に生徒数分のPCが揃っている学校には出会ったことが在りません。PCがなくても授業ができるようにダンボールを使用した教材を用いています。MSワードやエクセルのアイコンカルタ、PCのキーボードをパズルにした教材は子供たちに人気で、ある日子供たちが自主的に教材を作って遊んでいる姿をみてとても感動しました。

私の活動の目標は、子供たちに協調性をつけ達成感を感じてもらうことです。また巡回先の先生方が自主的に教材を考案してくれるようになってほしいと思っています。授業ではチーム対抗戦のタイピングリレーやどのチームがハードウェア、ソフトウェアなどを一番多くいえるかなどグループワークを取り入れています。中々ルールが守れず何度もやり直すことが多いです。またICTの授業に参加させてもらうと、ICT担当の先生が私が代わりに授業をやっているからといって、姿を消したり、職員室でおしゃべりしていることがあり、悲しくなります。今後は担当の先生に協力を依頼し、一緒に授業を考案してもらえるように活動をしていこうと思います。

ガーナで生活で驚いたことは、想像していたよりも信仰心が強いことです。国民の約80%がキリスト教のガーナでは、毎週日曜日に教会に行くのが習慣です。何度かお誘いいただき、教会に足を運びました。教会ではダンスや寄付を募ったり聖書を読まれるのですが、最長6時間もあり「こんなに長いのか!」と驚きました。日本では、踊りながらお賽銭を入れる文化はないのでとても面白い文化だと思いました。



キーボードパズル



野球を通しての情操教育。アフリカにいる野球隊員と合同で野球普及活動を行いました。



現地食、フフを作っているところ。

プランテインとキャッサバをゆでたものを混ぜて、こねてお餅みたいにして食べます。



ホストファミリー。ガーナ赴任後2週間ホームステイでお世話になったファミリー。
今でも時々現地フードをご馳走してもらっています。